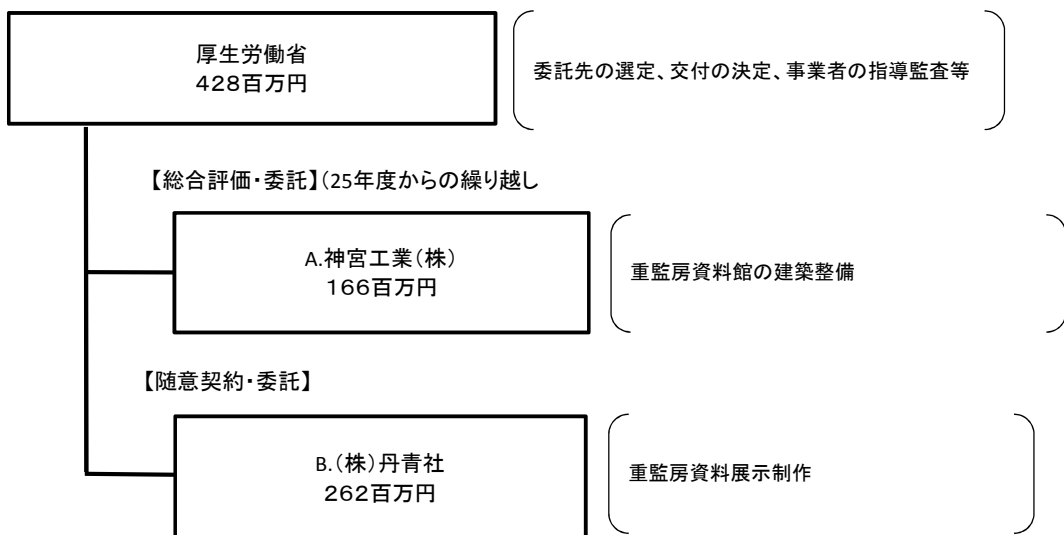


平成27年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>	歴史的建造物等保存等経費			<b>担当部局庁</b>	健康局	<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	平成23年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	平成26年度	<b>担当課室</b>	疾病対策課	課長：田原 克志		
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等を充実させること			
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第18条			<b>関係する計画、通知等</b>	-			
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	社会保障			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第18条」に基づき、ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する正しい知識の普及啓発及び名誉回復に必要な措置を行うことを目的とする。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	ハンセン病に対する隔離政策の歴史において、栗生楽泉園に重監房が設置されたことを紹介するなど、ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する普及啓発事業の一環として、「重監房資料館」を建設する。							
<b>実施方法</b>	委託・請負							
<b>予算額・執行額 (単位：百万円)</b>		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	228	368	-	-	-	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	47	203	428	-	-	
		翌年度へ繰越し	▲203	▲428	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計	72	143	428	0	0		
	執行額	60	117	428	-			
執行率(%)	83%	82%	100%	-				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 26年度
	前年度入館者数以上の入館者数	重監房資料館の入館者数	成果実績	人	-	-	8,393	-
			目標値	人	-	-	8,000	前年度以上
			達成度	%	-	-	104.9%	-
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	契約金額	活動実績	円	30,607,500	534,975,000	-	-	
		当初見込み	円	40,160,400	541,452,099	-	-	
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	-	単位当たりコスト	-	-	-	-	-	
		計算式	X/Y	-	-	-	-	
平成27・28年度予算内訳 (単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	歴史的建造物等保存等経費	-	-					
	計	0	0					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、国費を投入すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		×	総合評価入札などで競争性を確保しているが、一部事業において、応札者がなかったため、(株)丹青社との随意契約を行った。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づく普及啓発及び名誉回復に必要な施設整備に係る経費に限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果実績は成果目標をやや上回っており、見合ったものとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	<p>・ハンセン病問題の解決の促進に関する法律によれば、国の隔離政策に起因してハンセン病患者であった者等が受けた身体及び財産に係る被害その他社会生活全般にわたる被害の回復には、未解決の問題が多く残されているとされており、ハンセン病患者であった者等に対する偏見と差別のない社会の実現に向けて、真摯に取り組むこととされている。</p> <p>・本事業は、ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第18条の規程に基づき、ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する知識の普及啓発及びハンセン病患者であった方々の名誉回復を図るために必要な施設を整備するものである。</p> <p>・25年度は施設の整備及び展示の制作を行った。大雪のため、一部事業を繰越したが、26年度において適切に執行した。</p>			
	改善の方向性	<p>・平成24年度は、基本計画の策定(企画競争落札方式)、建築設計(総合評価落札方式)及び展示の設計(企画競争落札方式)を行ったところであり、効率的な執行が図られた。25・26年度は建築工事(総合評価落札方式)及び展示制作(一般競争落札方式)を行い、効率的な執行を行った。</p>			
<b>外部有識者の所見</b>					
点検対象外					
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>					
終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成26年度をもって終了すること。				
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>					
予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。				
<b>備考</b>					
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>					
平成22年度	-	平成23年度	新23-015	平成24年度	861
平成25年度	141	平成26年度	152		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて  
補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.神宮工業(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	重監房資料館の建築整備	166			
計		166	計		0
B.(株)丹青社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	重監房資料展示制作	262			
計		262	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	神宮工業(株)	重監房資料館の建築整備	166	総合評価	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)丹青社	重監房資料展示制作	262	随意契約	-